学校番号	１２０３

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２、３年次
使用教科書	地学基礎　（啓林館）						
副教材等	サンダイヤル地学基礎の基本マスター　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本は地震・火山大国である。ゆえに地震災害・火山災害は必ず起こります。それらの災害がどのようにして起こるのか。地震・火山噴火のメカニズムの知識を習得し、どのような対策を取ればよいのか考えていってもらいたい。プレートテクトニクスを理解し、それによる地殻現象（地震活動、火山活動、造山運動）や恩恵（温泉、地熱発電 etc…）を知り、我々が住んでいる地球という惑星を大切に思う態度を身につけてほしい。

1　日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち,その法則性について考える態度をもつこと。
2　疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
3　学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め,目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活と地学現象の関わりに興味を持ち、意欲的に調べようとするとともに、気象災害や地震災害にどのように備えればいいかを常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に着けている。	地学現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、自分の考えを適切に表現している。	地学に関する観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、その結果を記録・整理し、地学現象を科学的に探究する技能を身につけている。	地学現象や事物について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	固体地球とその変動	地球の概観	○				a:地球の特徴やプレート運動に興味を持ち、地震や火山の発生に仕組みについて、意欲的に調べようとする。 b:地震・火山噴火の仕組みをプレートの運動と関連付けて考えることができる。 c:火成岩の組織を観察することができる。 d:地球の大きさや層構造を理解する。地震発生の仕組み、火山噴火の仕組みが理解できる。組織と造岩鉱物の組成に基づく火成岩の分類ができる。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地球の内部構造				○		
		プレートと地球の活動	○					
		地震		○				
		火山活動と火成岩の形成				○		
		火成岩の顕微鏡観察			○			
後期	移り変わる地球	堆積岩とその形成	○				a:地表の変化の様子や古生物の変遷に興味を持ち、堆積岩・地層・化石について、意欲的に調べようとする。 b:褶曲や断層などの地質構造や不整合から，過去の地殻変動について考えることができる。 c:堆積岩を観察し，粒子の種類や大きさを調べることができる。 d:堆積岩の分類・地質構造がわかる。生物の変遷による地質時代の区分がわかる。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地層と地質構造				○		
		地球の歴史の組み立て		○				
		先カンブリア時代	○					
		顕生代				○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。